

国家戦略特区の評価と課題

平成29年 3月 6日

経済ジャーナリスト

磯山 友幸

首長のリーダーシップと改革疲れ

★ 特区の成否は首長のリーダーシップ次第

兵庫県養父市 広瀬栄市長

秋田県仙北市 門脇光浩市長

ex. 東京都、知事交代で一気に前進

★ 一方で地域に見え始めた「改革疲れ」

特区としての「注目度」→ 既得権との激突

首長が選挙で苦戦

= 首長の**孤軍奮闘**（職員の面従腹背）

課題：首長の「孤軍奮闘」を支える策

★ 首長を支える職員がいない

首長のアイデアを具体化できる人材の不足

→ **共同事務局**の活用

→ 中央省庁から地方自治体への出向

★ 規制突破に精通した地域人材を育てる

市町村職員に内閣府出向あるいは兼務

あるいは内閣府での数カ月のインターン

新技術・新産業の実験場

★ 先端技術の実証実験

- ・ 仙北市の自動走行実験
- ・ 千葉市のドローン配送実証実験

★ 日本の産業、文化を守る外国人人材

- ・ 大潟村 農業を支える外国人材
- ・ 浜松市 定住外国人の日本社会への融合
- ・ 豊岡市 日本の温泉文化を守る人材不足
クールジャパン人材の早急な受け入れ

★ 改革派首長はまだまだいる

長崎県大村市、熊本県菊池市、岡山県総社市